

松本 たかひろ
通 信

ONLY ONE オンリーワン



明石発...
兵庫の未来

かけがえのない財産を活かし **元気UP!**

令和5年 新春号

発行 松本隆弘事務所 明石市西新町2丁目8-6 TEL 078-921-8778



令和5年が幕を開けました。コロナ禍に加え、ロシアのウクライナ侵略等による不安定な世界情勢、エネルギー価格や物価高騰など厳しい局面が続いています。だからこそ、対話と現場主義に一層徹して、しっかりと地域に根を張って難局に立ち向かい、夢と希望を持ち続けられる兵庫となるよう、全力で取り組む決意です。

兵庫県においては、齋藤新県政がスタートして1年半が経過、新しい風が吹き始めています。公民連携によるSDGsの展開など「成長の種」ともいえる新しいプロジェクトが県内各地でスタートしています。明石市で昨秋開催された「全国豊かな海づくり大会兵庫大会」のレガシーとして県民総参加で豊かな海を創出する取り組みなども今年から本格的に動き出します。

今後とも県民の皆さんの声を聞き同じ目線で、齋藤元彦知事と議論を積み重ねながら、地域課題の解決、時代潮流をとらえた政策を実行し、県政をさらに前に進めて参ります。この1年も「躍動する兵庫・明石」の実現に果敢に挑む覚悟です。ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



うみ・とき・まち

明石の豊かな海を再生します

万葉の歌にも詠まれた明石の海ですが、生活の向上や防災のための整備により自然浄化作用が衰えてきました。瀬戸内海環境保全特別措置法の改正後、本格的に「豊かな海創生支援事業」を推進しています。昨秋、明石市で開催された「全国豊かな海づくり大会兵庫大会」では、豊かな海の創出に取り組む本県の姿を全国に発信しました。その成果を次代に継承するため、取り組みの輪をさらに広げ、水産業の一層の振興・発展を図ります。

『時の記念日』の祝日化をすすめます

海の幸に恵まれた風光明媚な海峡交流都市であり、子午線の通る時のまち「明石」。誇りともいえるこれら財産を最大限に活用した魅力的なまちづくりに取り組んでいます。中でも全ての人に平等に刻む「時」の大切さを国民で共有するため『時の記念日』の祝日化を進めています。

その取り組みを通じて、人権の尊さ、多文化共生、伝統文化、そして国、ふるさとを愛する心を育む地域づくりを進め、明石から兵庫の元気を発信します。

災害に強いまちをつくります

災害時にも地域住民の安全がいち早く確保できるシステムづくりをはじめ、南海トラフ地震や多発する風水害などの自然災害に対し、ハード面の防災・減災対策を進める一方、ソフト面では、防災リーダーの育成を含め、避難行動のための情報伝達と救助体制づくりを進めていきます。これらハード・ソフト両面で日本一ともいえる防災先進県兵庫の安全・安心の強化を目指します。さらに感染症にも備えた危機管理体制の強化を図ります。

松本 たかひろの
県政
レポート

明石で全国豊かな海づくり大会兵庫大会を開催

水産業の振興・発展 海の恵みを次世代へ

11月12、13日、「第41回全国豊かな海づくり大会兵庫大会」が開催されました。12日は県立明石公園で関連行事の「豊かな海づくりフェスタ2022」が開かれ、県内各地から海の幸を中心とした食や加工品等の特産品が大集合し、豊かな海づくりに取り組む団体による体験型のブース展示などが行われ、多くの人々が五国の魅力を体感しました。

13日、明石市で開かれた式典行事、海上歓迎・放流行事には私も出席させていただきました。豊かな海の創出に取り組む地域の姿を全国にアピールし、その活動の輪の拡大、そして水産業の一層の発展に力強く取り組むことを誓い合いました。



西村やすとし経済産業大臣と豊かな海を願い稚魚を放流

大会のレガシー継承に向けて

大会のレガシーを継承する取り組みについて、昨年10月の決算委員会で質問したところ、豊かな海づくりに向けた新たな推進母体の設置、ひょうご豊かな海づくりの日（仮称）の制定、豊かな海づくりをテーマとした推進大会の開催を検討する答弁を得ました。具体化に向けてしっかり取り組んでいくとともに、引き続き、「豊かで美しい里海づくり課（仮称）」の設置を要請します。決算委員会の主な内容は2面に掲載しています。

豊かな海づくりの推進母体を設置
「ひょうご豊かな海づくりの日」制定
豊かな海づくり推進大会の検討も

決算特別委員会に参画 財政状況・今後の事業展開など質問

令和3年度決算案を集中審議するため、第359回定例県議会で設置された決算特別委員会の委員に選任され、昨年9月30日から10月19日まで質疑等を行いました。井戸前知事が最後に編成した令和3年度予算が適正かつ効率的に執行されたかを審議するもので、

5期20年にわたる井戸県政を総括し、県政の刷新を掲げて誕生した齋藤知事による新県政の今後の道筋を左右する重要な委員会と位置づけ、審議に臨みました。質疑は部局ごとに行われ、県民生活に関わりが深い点を中心に、その概要を紹介します。



財政状況

「将来に渡って夢と希望を持ち続けられる兵庫」の実現

松本 昨年度に議会とも議論を重ね県政改革方針を策定した。令和3年度当初のフレームから改善はしたが、令和10年度にかけて総額140億円の収支不足が見込まれている。この県政改革方針はあくまで第一歩であり、人も地域も事業者も生き生きと活動し、そこに人、モノ、投資、情報が集まるわくわくする兵庫を創生し、成長させていく必要がある。今後、どのような財政運営を行うのか伺う。

財務部長 施策の選択と集中の徹底など県政改革を着実に実行しながら、収支不足の解消と財政運営指標の改善にしっかり取り組む。

福祉部

障害者スポーツの振興を通じた共生社会の実現

松本 障害者スポーツを誰もがともに楽しむことができるユニバーサルな活動として、その裾野が更に広がれば他者への理解が深まる効果も期待できる。

福祉部長 企業、学校、地域団体に対して幅広く障害者スポーツ大会や出前講座などへの参加を呼びかけるとともに、団体の協力を得てイベントを開催するなどの積極的な取り組みを行う。



農林水産部

豊かな海を再生一次世代に継承していくために

松本 豊かな海の再生に向けて漁業者、行政、研究機関が連携し、全国に先駆け取り組んできた。その意味で全国豊かな海づくり大会兵庫大会を通じ、県民総参加の豊かな海づくり運動の高まりにつなげなければなら



ない。大会のレガシーを次世代に確実に継承していくという強い覚悟と責任感のもと、今後の取組みに生かすことが重要。

全国豊かな海づくり大会推進室長 豊かな海づくりの新たな推進母体は、海に関する幅広い分野の事業者等の参画を働きかけ、理解促進につながる県民参加型の取組みを支援する。また、ひょうご豊かな海づくりの日の制定や豊かな海づくりをテーマとした推進大会の開催を検討するなど、大会のレガシーが色あせることがないよう、豊かで美しい兵庫の海の創出と継承を県民総参加の運動へ発展させていく。

まちづくり部

明石公園陸上競技場及び第一野球場の早期改修

松本 明石公園については齋藤知事が関係者等から寄せられた切実な要望等を総合的に勘案し、陸上競技場の公認継続に向

けた施設整備と野球場の早期改修に着手することを正式に表明された。多くの県民に親しまれる競技施設として、一層利用しやすい快適な施設にしてもらいたい。

部参事（園芸・公園担当）

陸上競技場は令和5年度下半期にトラック舗装改修工事等を行う。6年度当初から公認競技場として再開する予定。老朽化したスタンドやトイレ・器具庫等の改修については、トラック改修後に具体的な検討を開始する。第一野球場は令和5年度から強度不足のスタンド上部の補強工事や外壁コンクリートの剥落対策を先行し、安全の確保と座席の使用中止箇所の解消を図る。いずれにしてもバリアフリーな利用環境の整備も含め、競技団体などとも丁寧に調整を進めていく。

企業庁

企業庁SDGs宣言の推進

松本 企業庁の基本方針とSDGsは方向性が同じであり、率先し、さらには地域での旗振り役として取り組むべき。

企業庁次長 原油価格高騰なども見据え、太陽光、水素などの活用による再生可能エネルギー事業等を新たに展開する。

県政 2023 注目事業 安全安心の基盤を固め活力向上

万博へフィールドパビリオン展開

2025年の大阪・関西万博に向け、「ひょうごフィールドパビリオン」の「SDGs体験型地域プログラム」を募集したところ、111件の応募がありました。審査の上、今年度中に認定します。万博までの間、随時募集するとともに、認定プログラムの魅力向上のサポートや国内外でプロモーション活動を展開し、各地域のフィールドパビリオンへの人の流れを創出することで万博後の継承・発展につなげます。



明石は兵庫県を代表する観光地としての発展が期待されています

誰も取り残されることのない社会へ

ヤングケアラーの支援、孤立する妊産婦に住まいを提供する支援プロジェクトの創設、発達障害児の私立認定こども園の受入を広げるため、国の補助制度の対象外となる一人の受入であっても県として独自に支援しています。結婚し、子どもを産み育てたいという希望を叶える為、支えが必要な子どもや子育て家庭をめぐる課題に対して、社会全体で支援する取組みを推進します。

子どもたちの教育環境を充実

学校のICT環境整備、兵庫型「体験教育」の推進により、豊かな心の育成に取り組むとともに、県立学校のトイレ改修・空調整備を計画的に推進。普通教室棟のトイレ改修は前倒しで実施し、令和5年度中に完了する予定です。今後、魅力や特色ある学校づくりの推進、子どもたちの目線での学校施設の改修、部活動の環境充実など快適な学校環境の整備を加速させます。

7月からデスティネーションキャンペーン

社会の変化に負けない持続可能な観光地づくりをめざし、地域に根差した食や文化、歴史的背景等を体験する「兵庫テロワール旅」をテーマに今年7月から「兵庫デスティネーションキャンペーン（DC）」がスタート。9月までの3カ月間にわたり、兵庫の魅力を全国に発信します。



松本たかひろ議員事務所

〒673-0023
明石市西新町2-8-6
TEL (078) 921-8778
FAX (078) 921-8788

事務所前にご意見箱を設置しております

松本たかひろプロフィール

昭和37年5月19日生まれ(60歳)、県立明石北高等学校・日本大学 卒業
(一社)明石青年会議所 41代理事長、兵庫県議会議員(5期連続当選)

【現在の役職】●文教常任委員会 委員 ●県議会水産振興議員連盟 事務局長 ●県議会JC議員連盟 事務局長 ●県議会観光産業振興議員連盟 顧問 ●自民党兵庫連財務委員長

【その他の役職】●明石商工会議所 顧問 ●明石市商店街連合会 顧問 ●明石市管工事業協同組合 顧問 ●兵庫県宅地建物取引業協会明石支部 顧問 ●兵庫県エルピーガス明石支部 顧問 ●明石シニア・リトルリーグ 会長 ●明石子ども会バレーボール連盟 顧問

【主な議員経歴】●第121代兵庫県議会議長 ●兵庫県議会第122代副議長 ●兵庫県監査委員 ●決算特別委員会 委員長 ●総務常任委員会 委員長 ●農政環境常任委員会 委員長 ●自民党県議団 幹事長

兵庫県議会公式 Facebook
https://www.facebook.com/hyogokengikai

兵庫県議会公式キャラクター「兵庫博士」



明石発…
兵庫の未来

かけがえのない財産を活かし **元気UP!**

2022年 新春号

発行 松本隆弘事務所 明石市西新町2丁目8-6 TEL 078-921-8778

令和4年が始まりました。昨年はまさに激動の一年、新型コロナは今なお世界で猛威を振るい、先の見えない闘いが続いています。兵庫県においては、昨年8月、20年振りに知事が交代し、齋藤元彦知事による新県政がスタートしました。兵庫県を変えてほしいと願う県民の思いの表れだといえるでしょう。激動の時代にあって、数々の難題が降りかかってくる中においても、県政の両輪を担う県議会議員として、齋藤知事とともに「躍動する兵庫」の実現を目指して、決してひるむことなく、果敢に立ち向かっていく覚悟です。

明石市においては今秋、「全国豊かな海づくり大会 兵庫大会」が開催されます。豊かな海は、豊かな山・川があつてこそのものであり、県民一丸となって成功させようではありませんか。次世代に美しい豊かなふるさと兵庫を、そして、夢と希望を持ち続けられる兵庫となるよう、この一年も全力で取り組む決意です。ご支援ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



うみ・とき・まち

明石の豊かな海を再生します

万葉の歌にも詠まれた明石の海ですが、生活の向上や防災のための整備により自然浄化作用が衰えてきました。瀬戸内海環境保全特別措置法の改正後、本格的に「豊かな海創生支援事業」を推進しています。11月13日(日)には明石市で「全国豊かな海づくり大会 兵庫大会」が開催されます。これを機に、豊かな海の創出に取り組む本県の姿を全国に発信し、その取組の輪をさらに広げ、水産業の一層の振興・発展を図ります。

『時の記念日』の祝日化をすすめます

海の幸に恵まれた風光明媚な海峡交流都市であり、子午線の通る時のまち「明石」。誇りともいえるこれら財産を最大限に活用した魅力的なまちづくりに取り組んでいます。中でも全ての人に平等に刻む「時」の大切さを国民で共有するため『時の記念日』の祝日化を進めています。

その取り組みを通じて、人権の尊さ、多文化共生、伝統文化、そして国、ふるさとを愛する心を育む地域づくりを進めます。

災害に強いまちをつくります

災害時にも地域住民の安全がいち早く確保できるシステムづくりに取り組んでいます。南海トラフ地震や多発する風水害などの自然災害に対し、防災計画を見直し、ハード面の防災・減災対策を進める一方、ソフト面では、防災リーダーの育成を含め、避難行動のための情報伝達と救助体制づくりを進めていきます。

これらハード・ソフト両面で日本一ともいえる防災先進県・兵庫の安全・安心の強化を目指します。

松本 たかひろの 県政 レポート

齋藤県政スタート 躍動する兵庫へ共に挑む



8月1日に着任した齋藤元彦知事は、コロナ対策に積極的、機動的に対応するとともに、公約の実現にスピーディに対応するため早速、新県政推進室を設置しました。

9月および12月と定例県議会が開催され、県議会と齋藤知事との本格的な論戦がスタート。コロナ対策の強化を中心とした令和3年度補正予算など重要案件を可決しました。また、9月県議会では、「私の使命は躍動する兵庫をつくりあげること。二元代表制の一翼を担う県議会の皆様とともに最大限の努力を払ってまいります」と齋藤知事が所信表明を行いました。

さらに、令和4年度予算編成に対し、自民党兵庫議員団として9月に重要政策提言、これを具体化・事業化し、予算化を求める申し入れを11月に齋藤知事に行いました。

今後とも是々非々で議論を進め、「県民ボトムアップ型県政」を前に進めてまいります。

県民ボトムアップ型県政を前に進める

[写真左上から時計回りで]①8月2日、齋藤知事が県庁に初登庁。②就任式などの後、自民党兵庫議員団の総会であいさつ。③9月定例県議会で齋藤知事が所信表明。④自民党兵庫議員団として令和4年度予算編成に対する申し入れ。⑤「全国豊かな海づくり大会 兵庫大会」の1年前プレイベントで齋藤知事と懇談

全国豊かな海づくり大会～御食国ひょうご～

兵庫大会 1年前プレイベントを開催



「第41回全国豊かな海づくり大会 兵庫大会～御食国ひょうご～」の1年前プレイベントが10月17日、明石市内で開かれ、本番を想定した検証を行うとともに、大会機運を盛り上げました。明石市立市民会館での式典行事では、主催者を代表して齋藤知事が「兵庫県の豊かな

海づくりの率先した取り組みを国内外に発信し、活動を広げたい」と開催意義を述べるとともに、公募により選ばれた大会オリジナルコスチュームを身にまとった「はばタン」も登場しました（写真左）。明石港ペランダ護岸では海上歓迎・放流行事を開催。漁船約90隻が海上パレードする中、マダイとヒラメの稚魚の放流を出席者で行いました（写真右）。

第354回定例 県議会で登壇

豊かで美しいひょうごの海の再生について質問

令和3年第354回定例県議会で自民党兵庫議員団を代表して一般質問に立ちました。中では、「豊かで美しいひょうごの海の再生」について積極的な取り組みを要請しました。質問の概要は次の通りです。

松本たかひろ 自然は、ただ美しいだけではなく、そこに厳しさや荒々しさ、激しさなど併せ持つのが本当の意味での豊かな自然なのではないでしょうか。そのことに気付いた我々が次世代に胸張って残すべきものは、見事に再生された豊かで美しいひょうごの海であります。そのためには、沿岸の事業者や地域住民まで巻き込んだ県民運動へとつなげ、海に県境はないので、近隣府県がコラボするなど、政策の実効性を高めるための手法を早急に検討していくべきです。令和4年秋の「全国豊かな海づくり大会 兵庫大会」では、兵庫県がこれまで進めてきた瀬戸内海の再生という難解なミッションへの取組をもう一步前進させ、世界のモデルとして国内外に強く発信できる絶好の機会とすべきであります。この大会が瀬戸内海、日本海、太平洋にも面する多様性を持つ兵庫ならではの充実したものとなるよう、周到な準備を行っていきべきだと考えます。将来にわたって漁業生産が持続できる、豊かで美しいひょうごの海の再生に向けた取組は？

知事答弁 幅広い県民が取り組む県民運動へと発展させ、兵庫モデルとして全国豊かな海づくり大会の開催に向けて発信できる企画を充実させていきます。そして豊かで美しいひょうごの海の再生を加速させてまいります。

この他にも「弾力性のある財政構造への転換」「地域に根ざした産業に若者を誘導する取組」「2025大阪・関西万博を見据えたツーリズムの推進」「コロナ禍を踏まえた県立病院のあるべき姿」について県当局の見解をたどりました。



県政改革方針（仮称）〔行財政運営方針の見直し一次案〕発表

齋藤元彦知事が12月16日に発表した「県政改革方針（仮称）〔行財政運営方針の見直し一次案〕」は、基本方針として「躍動する兵庫の実現」「持続可能な行財政基盤の確立」とともに、各職場から自律的、多発的に業務の創意工夫や変革の提案がなされる「イノベーション型行財政運営の実現」を掲げています。時代の変化、県民のニーズに合ったサービスを展開し、新機軸の県政（イノベーション）を創出するものであり、ポイントの1つが新たな事業内容、事業実施方法の見直しに重点を置いたビルド型の行財政運営です。齋藤知事は「再構築することを重視した行財政運営を行い、新たな手法を活用して、イノベーション型の行財政運営を実現していきたいと考えています」と説明しています。

経済成長率を堅実に見込み 財政状況を分かりやすく

行革の前提となる財政収支見直しについては、経済成長率の見込みを、内閣府が示すより堅実な試算である「ベースラインケース」に変更しました。

これは、コロナ禍で中長期的な税収の見直し、経済動向の見直しも含めて、不透明な面があることから、堅実に見込んで、県民に今の本県の置かれている財政状況を分かりやすく伝えていくことにしたものです。

これによって令和3年度から令和10年度

社会変化に対応 民間活力で 効果的・効率的に事業展開

までの収支不足の総額が約100億円増えて440億円になります。

このため、事務事業や投資事業の見直しを行い、令和10年度までの総額で約1,300億円の効果額を創出することをめざしています。

中で、事務事業の見直しでは、「スクラップ・アンド・ビルド」の「ビルド」を重視することにし、民間のアイデアやノウハウ等を活用し、より効果的・効率的な事業展開を図ります。社会の変化で必要性が低下した事業

投資事業は道路など安全・ 安心に直結する事業に重点

は、廃止または縮減する方針です。

投資事業については、令和10年度までの一定の上限を設けて、事業をうまく調整する方針です。その中で、県民の安全・安心に直結する身近な道路の改修などは、県単独の土木事業の一部を重点的に振り替えて実施する考えです。

見直しによる効果額はコロナからの創造的復興をめざした新事業への反映を検討します。

松本たかひろ議員事務所

〒673-0023
明石市西新町2-8-6
TEL (078)921-8778
FAX (078)921-8788

松本たかひろプロフィール

【現在の役職】●警察常任委員会 委員 ●県議会水産振興議員連盟 事務局長 ●県議会JC議員連盟 事務局長 ●県議会観光産業振興議員連盟 顧問 ●自民党兵庫県連財務委員長
【その他の役職】●明石商工会議所 顧問 ●明石市商店街連合会 顧問 ●明石市管工事業協同組合 顧問 ●兵庫県宅地建物取引業協会明石支部 顧問 ●兵庫県エルピーガス明石支部 顧問 ●明石シニア・リトルリーグ 会長 ●明石子ども会バレーボール連盟 顧問
【主な議員経歴】●第121代兵庫県議会議長 ●兵庫県議会第122代副議長 ●兵庫県監査委員 ●決算特別委員会 委員長 ●総務常任委員会 委員長 ●農政環境常任委員会 委員長 ●自民党県議団 幹事長

昭和37年5月19日生まれ(59歳)、県立明石北高等学校・日本大学 卒業
(一社)明石青年会議所 41代理事長、兵庫県議会議員(5期連続当選)

兵庫県議会公式

Facebook
https://www.facebook.com/hyogokengikai



兵庫県議会公式
キャラクター
「兵庫博士」